

番号	上の句	下の句	作者
60	いつだってめでおつてしまうかれのこと いつだって目で追つてしまう彼のこと	私の気持ち届きはしない わたしのきもちとどきはしない	ひめ
59	がんばって勇気を出して告白だ	だが緊張して言葉が出ない だがきんちようしてことばがでない	みーな
58	好きな人心に秘めた恋心	儚き恋が叶うその日まで	星詠み
57	最終日言うはずだった好きですと	でも飲み込んだお幸せにね はかなきこいがかなうそのひまで	一沙
56	大好きとたった一言それだけが	でものみこんだおしあわせにね なかなか言えず時が過ぎ去る	みーにゃん
55	窓際で景色を眺める夏の日々	風に乗ってくる片思いの声 なかないえずときがすぎさる	*ここなつ*ぷりん*
54	嫌いだとクラスの誰かに言っただけ	気づかれないよう想ってる人 かぜにのってくるかたおもいのこえ	まりも
53	彼の人の姿追懐し黄昏て	紅くなる頬 苺の如し あかくなるほほいちごのごとし	ぎあ
52	桜吹くピンク桜がチリチリと	さあ新学期行ってきます さあしんがつきいってきます	はま
51	闇の中雫や落つる今独り	光見たのは君の手あるから ひかりみたのはきみのてあるから	結